

『ごきげんようアイドル!』

作 阿野一人

登場人物

- 末野リズ 高嶺のフラワーズのプロデューサー。元アイドル。通称リズP (スエノリズ)
- 真島京華 ヌベジヨの問題児。高嶺のフラワーズメンバー (マジマキヨウカ)
- 毛利えま ヌベジヨの優等生。高嶺のフラワーズメンバー
- 尾浜美晴 ヌベジヨの平均値。高嶺のフラワーズメンバー (オバマミハル)
- 林まりあ 私立ヌーヴェルファミ女学院高校の教頭。きびしい
- 平岩ことり ヌベジヨの物理教師。「女の武器」肯定派。
- 小佐野秋穂 ヌベジヨの英語教師。京華たちの担任。男に負けたくない。(オサノアキホ)
- 中塚美美子 ヌベジヨの事務長。学院の創立者一族。(ナカツカフミコ)
- 井上康代 ヌベジヨの体育教師。新卒。通称イノセン
- 島川芳美 ヌベジヨの吹奏楽部コーチ。全国レベルの指導者。(シマカワヨシミ)
- 甲斐アゲハ ヌベジヨの生徒会長。
- 黒木有希 ヌベジヨのOG。有名なミュージカル俳優。(クロキユキ)

※文中に「」がある場合は、次のセリフで遮る。

「」以降、任意のタイミングで遮ってよいが、セリフ終わりまで遮らないのはNG

※語尾や感嘆詞は、役者の発話しやすい形に直してよい (キャラクターを損なわない範囲で)

第一場

私立ヌーヴェルファミ女学院高校の会議室。京華がダンスの練習をしている。

闘いの前に自分を鼓舞するような、一心不乱のダンスである。

不安に押しつぶされそうになりながら、えまが入ってくる。

京華、えまに気付きダンスを中断する。

えま …… (無言で京華に助けを求める)

京華 …… (無言でえまに「大丈夫だ」と伝える)

京華、えまを鼓舞するようにダンスを再開する。

えま、一瞬の迷いのあと、不安を振り払うようにダンスに合流する。

二人が息の合ったダンスをしていると、憔悴しきった美晴が入ってくる。

えま&京華、美晴に気づいてダンスを中断する

えま&京華 ……（無言で美晴に「大丈夫だから一緒に踊ろう」と伝える）

第二場

美晴 なに踊ってんのよ！

えま&京華、ダンスをやめる

美晴 なんなのもう信じらんない！ どういう状況か分かってるの！？

えま ご、ごめん

美晴 えま……この期に及んで踊ってるなんて心象わるいじゃん考えてよ

京華 心象？

美晴 そうだよ！ しっかり反省してるってところを見せなきゃいけないのに

京華 反省？ なんの？

美晴 何って……アイドル！ 芸能活動！！ 校則違反！！！

京華 別に悪い事したわけじゃ／ないんだからさ

美晴 でも違反は違反なんだから！ 最悪、退学だよ！？

京華 もうしょうがないじゃんバレちゃったんだから

美晴 しょうがなくなる！ ちゃんと謝って、もうアイドルなんか辞めますって約束すれば、許してくれるかもしれないんだから

京華 え、待って。美晴いまなんて言った？

美晴 え？ 許してくれるかもしれない、って

京華 そのまえ！

美晴 アイドルなんか辞めますって／約束すれば、って

京華 はああああああ！？ あんたアイドルやめるの！？

美晴 ええええええ！ そうでしょ！ 違うの！？

京華 辞めないでしょ！ せっかくフェスもテレビも決まったのに！！

美晴 でもでもでも！ 辞めないと退学だよ！？

京華 だからそれはもうしゃーない！ 切り替えてこ

美晴 切り替えられない！ ママに殺される！！

京華 だってせっかくのチャンスなんだよ？ 私たちがメジャーになる大チャンス！！

美晴 チャンスって……え、まさか、えまも？

えま え……？

美晴 えまも学校辞めるの？ 京華と一緒に？

えま 私は……辞めたくない

美晴 だよね！ こんなことで高校辞めるなんて／バカみたいだよ

京華 (えまに) うそ!? じゃあアイドルやめんの!?

えま アイドルも……辞めたくない

美晴 それは無理だよ……前にもいたらしいじゃん。映画出て退学になった人!

えま やっぱ無理かな……?

美晴 あーもうなんでバレちゃったかなあ!!

京華 むしろ高校に残るのが無理くね?

えま え?

京華 だって映画で退学でしょ? アイドルなんてもっとダメじゃん?

美晴 違うの違うの。その人も、残るチャンスはあったんだって!

えま そうなの?

美晴 映画の公開を差し止めればセーフだったんだって! でも、その人は公開を選んだ。で、退学。

えま つまり、一発アウトじゃないってことか

美晴 そう! だから今の段階でアイドル辞めて、テレビもフェスも出ませんって言えばセーフ!

たぶんセーフ!

京華 テレビでないでどうやってっぺん獲るのよ!

美晴 てっぺんもクソも! アイドル自体を辞めるの!!

京華 辞めない!

美晴 辞めなきゃ退学だよ!?

京華 いいじゃん胸張って退学すれば!

美晴 どうやって親、説得すんのよ!?

京華 だったら家も出ちゃえばいいじゃん! それで! 3人で日本一のアイドルになる! したら誰も文句は言わないから!

第三場

リズ その通り!!

リズが入ってくる

美晴 (助けを求めて) リズP……

リズ 京華の言う通り。芸能の世界ってのはね。結果出したもんが勝ちだから。勝ったものが正義だから。っていうかね。それくらいの覚悟が無いと、てっぺんなんて獲れないからね!

京華 ついていきます! プロデューサー!

リズ うん!

えま あの、リズP

リズ なに?

えま どうしてここに……?

京華 式典で歌うかわりに、私たちを見逃してもらおう、みたいなことですよね！

美晴 そっか！

京華 ありがとうございます！

リズ んー。それはね……

えま 違いますよね？

京華・美晴 え？

えま イノセンが間違ってるだけですよね、誰かと

美晴 そうなの！？

えま だってリズPそんな有名なわけないじゃん

美晴 なんてことを！ そりゃ、わたしもびっくりしたけど！

えま だって、ほら、黒木さん、って呼んでなかった？ イノセンが！

京華 そうだっけ

美晴 リズP、苗字なんだっけ？

リズ 末野

えま ほら！（同時に）

美晴 はああああ？（同時に）

京華 え、どうということ？

リズ だから…あんたらが心配になって校門ウロウロしてたら、さっきの先生が声かけてくれて

京華 それで？

リズ 黒木さんですか？ っていうから、そうです、って

美晴 ええ！？ そうじゃないじゃん！

リズ だって困ってたから。入れなくて

美晴 不法侵入！

リズ いやあの人がどうぞどうぞっていうから

美晴 そりゃ他人のフリしたからでしょ！？

京華 まあでも心配して来てくれたんだし

美晴 逆効果じゃん！

リズ なんでよ！

美晴 だって「アイドルやってごめんなさい」しなきゃいけないだよ！？ なのにプロデューサーが不法侵入までしてたら最悪じゃん！ 絶対許してもらえないじゃん！

リズ 大丈夫！ 勘違いだから！

美晴 なにが！

リズ あの先生も勘違い、私も勘違い、で、偶然あんたらに会えた！ それだけだから

美晴 ウソじゃん！ 黒木さんとやらの名を騙ったじゃん！

リズ 聞き間違い！

美晴 はあ！？

リズ ……（曖昧に）そろえきおさんですか？ って言われて、末野、かなって。

美晴 いやいやいや無理がある無理がある（同時に）

京華 それはさすがに（同時に）

リズ とにかく、私が来たからにはもう大丈夫！

美晴 ホントに……？

リズ 大丈夫！ 私に任せといて！

京華 信じていいんですよね？

リズ もちろん。あんたたちのために／絶対になんとかするから！

えま （リズに体当たりして）誰か来た！

リズ え、なに！？

えま 隠れて！！

三人、リズを物陰（机？ロッカー？）に押し込もうとするが
隠し切れないタイミングで、アゲハが部屋を覗きこむ

第五場

アゲハ なにやってんの？

えま ……アゲハか

三人、安心してリズを押し込む手を緩める

アゲハ なにか？

えま いや、先生かと思って

アゲハ 教頭先生もいるけど

三人、慌ててリズを物陰に押し込む

林と島川が現れる

林 ごきげんよう

三人 ご、ごきげんよう

林 ……

美晴 あの、ごめんなさい

林 ……まあ、わかっているとは思いますが。後でゆっくり話しましょうね

美晴 はい……

林 黒木さんいらしてないですか？ ミュージカル俳優の黒木有希さん

美晴 あの、えっと、そのこと／なんですが

京華 お見えになっていません！ 私たち三人だけです！

林 そう

島川 どうしたんですかね

林 (退出しながら) 井上先生！ 黒木さんいらっしやらないですけど

林と島川が出ていく。アゲハはしれっと残っている

井上(声) ええ？ そんなはずは……

リズがごそそと出てこようとすると、井上が現れる
三人、慌ててリズを隠す

井上 あれ。ほんとだ。どこ行かれたか知らない？

美晴 えーと

京華 わかんないです！

井上 えー？

井上、去る

リズがごそそと出てくる

第六場

京華 危なかった……

えま 黒木さん、って黒木有希のことだったんだね……

美晴 有名な人？

えま うん。ミュージカルではかなり。

リズ いまのが教頭先生？

美晴 うん

リズ もう一人は？

美晴 知らない

アゲハ 吹奏楽部のコーチです。島川さん。

京華 なんていんのよ！？

アゲハ いいじゃんいたって。(リズに) ごきげんよう。生徒会長の甲斐アゲハと申します。はじめまして。

リズ ご、ごきげんよう。えーと……

アゲハ たぶんですけど、アイドル関係の方ですよ？

美晴 なんて知ってるの！？

アゲハ ウワサになってるもん。

京華 有名人じゃん／ウチら(うれしい)

美晴 バカ

アゲハ ほんとバカ。なんでアイドルなんかやるかね。

京華 なんだお前

アゲハ あと半年で卒業なのに。その半年がなんで待てないかな

京華 わかってないねえ。アイドルやるなら18じゃ遅いんだよ。てっぺんと思うたら／なるべく早く始めないと

アゲハ てっぺんとするならアイドルじゃなくていいじゃん。私も吹奏楽で日本一とったよ？

京華 そうじゃないんだよ

アゲハ わざわざ校則違反する意味がわかんない

美晴 わたしはね、アイドルかわいくて楽しいからどうしてもアイドルが／やりたくてやったけど、もう辞めようと思ってるんだよ

アゲハ (美晴を無視してリズに) どうするんですか？

リズ え？

アゲハ えまちゃんたち退学ですよ？ どういうつもりだったんですか？

リズ いや、まさかこんな大事(おおごと)になるとは

美晴 え？

リズ いやいやいや。ちゃんと責任とります！ 私が。

アゲハ どうやって？

リズ もちろん、アイドルとしてめっちゃ売れて／退学させたこと後悔させてやりませう

美晴 え、待って!？ 辞めるよ!？ アイドル!

リズ ええ? ダメだってそんなの!

美晴 なんだ!

リズ なんてって! これからじゃない! テレビだってフェスだって／あるのに

美晴 キャンセルでお願いいたします!

リズ ダメダメダメダメ! 私の立場はどうなんのよ!

えま 私たちのためじゃ、ないんですか?

リズ ……運命共同体ってこと! あんたたちが日本一のアイドルになれば、私も日本一のプロ

デューサー! あんたたちが夢を諦めたら、私のプロデューサーとしての夢も終わり!

京華 リズP…!

リズ 言っただけじゃなく……レッスン代に衣装代、作詞作曲振付広告それから接待、ついでに賄賂! あんたたちには、何百万ってお金がかかっているの。こんなことで辞められたら、私のクビじゃすまない……じゃなくて、期待してくれてるみなさんを、がっかりさせちゃうでしよ。

美晴 ……じゃあ、一緒に諦めましょう!

リズ なんてそうなるのよ!

美晴 だって退学は困るもん!

リズ この世界にいらなくなるよ?

美晴 諦めよ? 普通に大学行って普通に就職しよ?

リズ 私はどうなんのよ! 14の時から芸能界なのよ!?

えま やっぱり自分のためなんですか?

リズム ちがうのよーえまちゃん
でも……

リズム わかった。一旦落ちつこう。あんたたち、本当にアイドル辞めたいの!?

美晴 辞めたい! (同時に)

京華 辞めたくない! (同時に)

京華と美晴、にらみ合う。リズム、えまに答えるよう促す

えま ……辞めたくないです

リズム よし! じゃあ退学やむなし! フェスもテレビも頑張って、三人で天下とろう!

美晴 多数決なの!? 困るって!

京華 往生際が悪い!

美晴 じゃあ二人でやりやいいじゃん

リズム ダメダメダメむりむり。三人じゃないと絶対売れないって

美晴 リズPだってあれよ!? うちの親に殺されるよ!?

京華 逆恨みじゃん! バラした奴が悪いのに

美晴 そうだけど! そんな理屈が通用する/親じゃないから

リズム もう誰が悪いとかはやめよ。私たちみんなで高嶺のフラワーズなんだから

京華 そう! みんなで退学して、みんなで頑張ろう!

えま あの!

リズム !?!

えま 私……学校も辞めたくないです……

京華 もー! それじゃ決まんないじゃん!

えま 多数決なの……?

美晴 アゲハどうおもう!?

アゲハ わたし関係ないでしょう

美晴 あー! (部屋の外を歩く平岩に気づき)

美晴、部屋から飛び出し平岩を引っ張ってくる

第七場

美晴 ぴよちゃんどうおもうー!?

平岩 ちょっとちょっとなにに?

リズム、京華、えま、リズムを隠す暇がなかったことで固まる

美晴 (三人の様子に気づき) どうしたの?

えま だって、平岩先生……

美晴 ああ、ぴよちゃんは大丈夫！ 知ってるから！

えま え

京華 あんた、しゃべったの？

美晴 うん

京華 うん、って……バレたのここからじゃん！！

美晴 ええ！？

平岩 違う違う違う！ 私じゃない！

美晴 そうだよ！ ぴよちゃんは応援してくれてたし！

平岩 そうそうそうそう

えま そうなんですか……？

平岩 (リズに気づき) あ、もしかして、噂の？

リズ あ、どうも。はじめまして。プロデューサーの末野リズです

平岩 わー！ はじめまして！ ごきげんよう！！

リズ ご、ごきげんよう

平岩 物理の平岩ことりと申します！

美晴 ぴらいわぴよちゃんです。好きなアイドルはフルーツジッパー、好きな物理学者は？

平岩 ん？ あ、フレミングです！（左手の法則のポーズ）

美晴 かわいい！

平岩 リズPさん、この子たちがお世話になってますほんとに。

リズ はあ。

平岩 美晴ちゃんなんてね、アイドル始めてから本当に明るくなったんですよ。なんかねー、無気

力だったもんねー美晴ちゃん

美晴 ねー

小佐野が入ってくる。高額のフラワーズの活動についての資料を持っている

第八場

小佐野 ねー、じゃないですよ

美晴 あ。

小佐野 平岩先生。知ってて隠してたなんて大問題ですよ。保護者になって説明するんですか！

平岩 別に大騒ぎするようなことじゃないじゃないですか。アイドル活動くらい。

小佐野 あなたは担任持っていないからそんなことが言えるんです。見てくださいこれ

小佐野、資料を見せる。ちよつと露出気味の衣装で三人が写っている

小佐野 私が知ってれば、この子たちが被害に遭う前に守れたかもしれないのに。どう責任とるおつ

もりですか！

平岩 被害？（資料をみながら）これが、なにか？

小佐野 なにか、って。この衣装をみて何も思わないんですか！？

平岩 かわいいと思います

小佐野 な……こんな男性に媚びた衣装の、どこがかわいいんですか！

平岩 媚びてるかなあ

美晴 普通だよねえ

小佐野 これが普通なのが異常なんです！

えま あっ（小佐野の他の資料に気づき）コレなんですか！？

小佐野の資料の中に、リズのインタビュー記事がある

小佐野 来週発売の週刊誌です。あなたたちの芸能活動が、公になってしまいうんです！

京華 すご！ ウチらの写真めっちゃ載ってる！（うれしい）

美晴 ほんとだ！（うれしい）

小佐野 喜んでますか？

美晴 喜んでないです

京華 「プロデューサーの末野リズが描く成功への道」

美晴 「等身大の明るさに漂う品性」！？ べた褒めじゃんヤバイ！

リズ そうだよー？ 美晴はスターになれるんだから！ だからアイドルつづけよ？

小佐野 （リズに）なんであなたがいるんですか

美晴 あああ隠すの忘れてた！

リズ あ、あの、その。話し合いにね、参加したほうがいいと思ひまして

小佐野 そうですか

リズ はい。えっと、ごきげんよう。（がんばってごきげんようって言ってみる）

えま そんなことより、なんでインタビュにこたえてるんですか？

リズ そりゃ、あんたたちを売り込むために

アゲハ この人がバラしたんじゃないの？

美晴 え？（同時に）

京華 え？（同時に）

リズ ……ん？

アゲハ （記事を眺めながら）ヌベジヨの生徒だって堂々と言ってるし

リズ それは、その……どうせバレるんだったら、利用してやろうと思ってる！

京華 利用？

リズ そう！ だって、ヌベジヨだって噂が出た途端に、フェスもテレビも決まったのよ？ だっ

たら、変に否定するより利用するでしょ普通！

京華 たしかに

リズ だからね、今はピンチだけどチャンスなの！ ヌベジヨブランドでせっかく売れそうなん

美晴 だから、美晴もえまもアイドルつづけよ？ ね？
でも退学は困る……
リズ だからそれは諦めよう！ 三人でチャンス掴んでっぺん獲って後悔させてやろう。ね？
えま でも
リズ なに
えま 退学したらヌベジヨブランド使えないですよ？
リズ なんで！？
えま なんでって、現役ヌベジヨ生じゃなくなるんだから……

間

リズ ……盲点だったー
アゲハ 盲点でかくないですか
リズ えーだってそんなアイドル活動くらいで退学になるとは思わないじゃん
小佐野 退学に決まってるじゃないですか（同時に）
平岩 ねえ。なんにも悪いことしてないのに（同時に）

にらみ合う平岩と小佐野

平岩 小佐野先生はなんでそんなにアイドルを／目の敵にするんですか
小佐野 あんな男に媚びるような活動は／すべての女性を貶めるものです
リズ （先生二人に）なんとか退学にならない方法ないですかね？
小佐野 難しいとおもいますよ（同時に）
平岩 大丈夫だと思いますよ（同時に）

にらみ合う平岩と小佐野

小佐野 平岩先生、どうしてあなたはそう無責任な／ことを言うんですか
平岩 小佐野先生こそ、話し合う前から／決めつけるのは良くないですよ
リズ あーもう！ なにか方法はないですか！？
小佐野 まずはアイドル辞めないと（同時に）
平岩 まずはアイドル辞めないと（同時に）

にらみ合う平岩と小佐野

小佐野 平岩先生は……（同時に）
平岩 小佐野先生は……（同時に）
小佐野 （同意見であることに気づき）辞めることが絶対条件です

平岩 そうです

京華 (美晴に) ぴよちゃん全然味方じゃないじゃん！

平岩 味方だよー？ でもさ、退学するなんて損だから

京華 損？

平岩 そうだよ。女の子はかしく生きないと

小佐野 平岩先生！ 「女の子は」なんて言い方は／教育上よくありません

平岩 なんですか。その方が幸せになれますよ

京華 私は、別にかしくなんて生きなくていい

平岩 あら！ 損するわよー？

京華 損したっていい！ (リズに) ねえもう退学でいいじゃん！

リズ ダメだって……スベジヨブランドがないと／勝負にならない

京華 頑張るから！ っていうか、こんな古臭い学校のブランドなんて使いたくない！ 自分だ

けの力で、日本一のアイドルになるから！

黒木が現れる

第九場

黒木 よく言った！

えま あ、黒木有希！

井上が駆け込んでくる

井上 あーすいません打ち合わせは隣の／部屋です。

黒木 (井上を無視して京華に) あなた、芸能活動してるの？

京華 え、あ、はい

黒木 いいじゃない！ 私もね、自分だけの力で頑張るんだ！ って意地張って、気合と根性でこ

こまで来たのよ。あなたたちも、頑張ってるね！

京華 はあ

えま (黒木に) あのだ！ えーと、あの、『王様と私』みました！ 『マイフェアレディ』も

黒木 あらほんと！？ 嬉しい！ こんなかわいい子に観てもらえて。

えま 握手してもらえませんか！？

黒木 もちろん。あなたも何かやってるの？

えま はい、この二人とアイドルやって、将来は黒木さんみたいな俳優になりたいんです！

黒木 いいわね！ 待ってるからね！ お名前は？

えま 毛利えまと申します。

黒木 えまちゃん、頑張ってるね

えま はい！！

美晴 あ、じゃあ私も（握手してください）！ 尾浜美晴と申します。
黒木 美晴ちゃんも、頑張ってるね！
美晴 はい！

いつのまにか中塚と島川も入ってきている

第十場

平岩 じゃあ私も（握手してください）！ 平岩ことりと申します
リズ なんか、私の時と（3人の対応が）ちがくない？
黒木 （中塚に）理事長！ 芸能活動、オツケーになったんですね
小佐野 なってないですよ
黒木 えっ！？ （中塚に）そうなんですか？
中塚 ええ、まあ。
黒木 じゃあ、この子たちも……？
小佐野 それは、いまから話し合います。
黒木 そう……
中塚 私は、いい加減に認めてもいいんじゃないかと思うんですけどね。学校の利益のためにも。
林 そうはいきませんよ

林が現れる。

林 理事長。わが校にはわが校の教育方針というものがありません。それを、「利益」なんてもので簡単に覆されては困ります
中塚 ですが教頭。名門のイメージだけでは入学希望者は年々減るばかり／ですよ
林 それをなんとかするために、黒木さんをお招きしたんでしょう？
黒木 ……
林 黒木さん。ごきげんよう。お久しぶりですね
黒木 林先生もお変わりなく。教頭先生ですか。ずいぶん偉くなられたんですね
林 あなたほどじゃありませんよ
黒木 私は、苦労しましたから。おかげさまで。
井上 （リズに気づき）あー！ さっきの偽者！
小佐野 偽物？
リズ ごめんなさい、なんか行き違いがあったみたいで
井上 行き違い？
林 （井上に）あなたの確認不足です
井上 あ、はい。すいません。
島川 そしたら黒木さん、打ち合わせ隣なんで。おいアゲハ！

アゲハ （黒木に）ごきげんよう。はじめまして。吹奏楽部部长で、生徒会長の甲斐アゲハと申します。

黒木 はい、ごきげんよう。よろしく願います。

アゲハ こちらこそよろしく願います。黒木さんと一緒に演奏できるなんて夢みたいです。

島川 そしたら、いきましようか

アゲハ、井上、中塚、島川に促され退出する。黒木も後を追うが立ち止まり

黒木 えまちゃん、でしたっけ？

えま はい！

黒木 負けちゃダメよ。わたしは、あなたたちの味方だから

えま は、はい。ありがとうございます

林 あまり無責任なことおっしゃらないでくださいね。

黒木 ……

黒木、退出する。

第十一場

林 では。

面談の体勢になる。平岩とリズの席がない。

林 ……平岩先生は、どうしてここに？

平岩 なんとというか、なりゆきで

小佐野 アイドル活動を知っていたそうなんです（嫌味に）

林 隠していた、ということですか？

平岩 隠していたわけでは……

林 まあいいでしょう。経緯をご存知なら、同席してください。

平岩 はい

林 （リズに）あなたは……確か……

リズ えーと、保護者です。

林 保護者？

リズ （美晴に叩かれ）保護者というか、彼女たちのプロデューサー、兼マネージャーです

林 ああ、記事に載っていた

リズ はい。そうです。

林 でしたら、居ていただいても結構です。

リズ あの、えーと、どこに／座ればいいですか

林 どこでも結構です。

平岩、適当に椅子を用意する。リズと平岩が座る。話し合いが始まる。

林 では。3年B組、尾浜美晴さん

美晴 はい

林 3年B組、真島京華さん

京華 はい

林 3年B組、毛利えまさん

えま はい

林 あなた方3人は、「高嶺のフラワーズ」という名前で、アイドル活動をしていた。間違いないですか？

えま 間違いないです

林 (小佐野に) 間違いないですね？

小佐野 はい。担任である私の、監督不行き届きです。

リズ あの、

林 なんですか？

リズ アイドル活動というか、あれです。表現、というかその、ライブパフォーマンス／活動と一緒にです。芸能活動全般が禁止ですから

リズ あー、えっと、ほら、習い事みたいなものです！ ダンスと、歌。

林 ……芸能活動ではない、とおっしゃりたいのですか？

リズ そうです！

林 この子たちに、報酬は支払われていない、と

リズ はい！ びた一文支払ってません！！

林 (生徒たちに) 本当ですか？

えま はい

京華 それはそれでどうかと思うけど

リズ なので、その、習い事みたいなものということで、認めてもらうことはできないでしょうか
林 ……(先生二人に) どう思いますか？

平岩 いいんじゃないですか？ (同時に)

小佐野 言語道断です (同時に)

平岩と小佐野、にらみ合う

林 (インタビュー記事を見ながら) この「アイドルフェスティバル出演」は芸能活動じゃないんですか？

リズ それは……その、あれです。頼まれたから、出る、みたいな！

林 では、出演しない選択肢もある、ということでしょうか？

リズ それほ……

林 (生徒たちに)今回は幸い、こうして記事が出る前に私たちが知ることができました。なので、いかがですか？ 今後アイドル活動はしない。そう約束してもらえませんか？

美晴 それで許してもらえますか？

林 もちろんです。学校側としても、あなたたちにはちゃんと卒業してほしいと思ってるんですから

リズ それは困ります！ いまアイドル辞められちゃったら／これまでの投資が無駄になります(たしなめて)リズPさん

美晴 辞めます！ アイドル！ 学校に残りたいです。(えま・京華に)ね？

京華 私は嫌です

美晴 京華！

林 真島さん、私はあなたたちのために思って言ってるんですよ

京華 どこが私たちのためなんですか。だってせっかくのチャンスなんですよ！？ 私たちの夢なんですよ？

林 だからそれは、ちゃんと高校は卒業して／おいたほうが何をするのでも信用されるから。そんなの教頭先生次第じゃないですか！

林 へ？

京華 私たちのためっていうなら、アイドルOKで卒業させる、ってすればいいだけじゃないですか。なんでそんな意地悪するんですか！

林 意地悪ってあなた……

平岩 すごい理屈

京華 私なんか変なこと言ってる！？

えま ……うん、ちょっと。

林 いい？ ヌベジヨ卒です、って肩書きが信用されるのは、ヌベジヨの教育方針が社会から信用されているからなんです。その方針が守れない人を卒業させてたら、卒業生みんなの信用がなくなっちゃうでしょう？

京華 納得できません！

リズ あの、どうか今回だけ見逃してもらえないでしょうか！？

林 無理です。

リズ 私がちゃんと責任とりますんで！ どうか！！

林 ……どうやってとるんですか？

リズ 私の人生を賭けて、日本一のアイドルに育てますから！

林 末野さん

リズ はい

林 はっきり申し上げますが、あなたの人生とやらで背負いきれる責任じゃないんです

リズ え

林 この子たちの教育のために、どれだけの人が動いて、どれだけのお金がかかっているか想像してみてください

リズ 私たちだって、何百万もかけてこの子たちを／アイドルに育てようとしています
林 桁がひとつ違います

リズ え……

林 それだけではなく、120年の伝統を誇るこのヌーベルフェム女学院の信用問題でもある
リズ なんです。あなたなんかには、背負いきれるわけじゃないでしょう

リズ でも

林 理解できないんだったら黙っててください

リズ ……

林 毛利さん、あなたはいかがですか？

えま 私は……

沈痛な空気の中、ノックの音がする。

扉が開き、井上が現れる

第十二場

井上 お取込み中失礼いたします。黒木さんがどうしても、と。

林 あとにしてもらえませんか？

井上 それが……

黒木、中塚、島川、アゲハが現れる

黒木 ごめんなさい。やっぱり放っておけなくて

林 なんですか

黒木 林先生、じゃなくて、教頭先生。この子たちのアイドル活動、認めてあげてくださらない？

生徒たち、平岩、小佐野、リズ、ざわつく

林 あなたには関係ないことじゃないですか

黒木 そうなんですけどね。もうそんな時代じゃないでしょう。ねえ理事長？

中塚 そうですねえ

林 理事長。教育方針については現場に一任していただくのが、わが校の伝統のほうですが？
中塚 そうなんですけど、黒木さんが（白々しく）

黒木 この子たちの芸能活動を認めていただかない限り、私は式典には参加しません

生徒たち、平岩、小佐野、リズ、ざわつく

中塚 と、こうおっしゃるものですから。120周年記念式典に影響が出るとなると、ねえ。

林 ……こんなこととしてまで、伝統より利益が大事なんですか？

中塚 とんでもない。生徒さんたちのためです。

黒木 (えまたちに) みんな、ホントは学校もアイドルも辞めたくないでしょ？

えま はい！

美晴 できるなら！ もちろん！

黒木 さ、林先生。この子たちのためにも、芸能活動禁止なんて方針は無くしちゃいましょう！

えま 黒木さん……

美晴 ホンモノの救世主！

リズ やっぱなんか(自分が来た時と)対応ちがくない！？

林 ……(小佐野と平岩に) どう思いますか？

平岩 公式に認めるのは／どうかと(同時に)

小佐野 わが校の信用問題に／なります(同時に)

林 一人ずつお願いします。平岩先生から。

平岩 退学にするのはやりすぎですが、公式に認めるべきではないと思います

小佐野 女性であることを売り物にするような活動は、絶対に見とめてはいけません

林 これが現場の見解です。理事長。どうかご理解ください。

中塚 島川さんはどうお考えですか？

島川 私ですか！？

中塚 島川さんもコーチとして教育現場にいるわけですから。

島川 私は、そりゃやりたいことは応援すべきだと思いますよ。日本一になりたい、なんて言えるモチベーションがあるなら。なあ？(京華に)

黒木 さ、これで3対3です。

えま やっぱり多数決なんだ……

黒木 あとは井上先生、あなた次第で

井上 え？ わ、私！？

中塚 井上先生は式典の実行委員なんですから、黒木さんに出てもらえないと困りますよね？

井上 ああ！ そうですね！ はい！

林 つまり、井上先生は芸能活動を認めるべきだと？

井上 はい！ そうなります！

林 何を考えているんですか！

井上 ええ！？ だって教頭先生が言ったんじゃないですか

林 何を！？

井上 式典が滞りないように、って

林 優先順位というものがあるでしょう

井上 ですから、教頭先生が式典を最優先で、って。

林 ……

一同、沈黙

中塚 (島川に) ……井上先生、採用してよかったのかしら
島川 (中塚に) 今は味方ですから
林 ……この件は校則が最優先です！
井上 え！？ わかりました！ じゃあ、芸能活動禁止で！
島川 あっ
中塚 裏切った！
林 はい。これで4対3です。芸能活動は禁止のまま
中塚 井上先生！ あなた理事長命令より教頭の指示に従うつもりですか？
井上 えっ？
林 井上先生！ あなたの良心に従ってください！
井上 えっ！ えっ！
中塚 理事長と教頭、どっちの権限が上だと思ってるんですか！
井上 えー！ そんなのわかんないです！
アゲハ わかんないんだ……
林 井上先生、あなたの考えはどちらなんですか？
井上 それもわかんないです！！
島川 じゃあ式典って言っちゃえ！
井上 えーと、じゃあ……棄権で！！
中塚 3対3か……
リズ じゃあハイ！ わたし黒木さん側につきます！
島川 よーし3対4！！
黒木 (リズに) ありがとうございます！
林 (リズに) あなた部外者じゃないですか
黒木 そうなんですか！？
リズ ご挨拶が遅れました。山口興行アイドル事業部の末野リズです。
黒木 ああ、それで(ここにいますね)
林 そもそも、黒木さんだって部外者じゃないですか。決議に参加する権利はないはずですけど
黒木 それなら結構です。記念式典への出席はお断りさせていただきます
中塚 それは困ります！ 黒木さんは今一番ご活躍されてる卒業生なんですから！
林 卒業生ねえ
中塚 ですから、黒木さんのご意見はきちんと一票として扱うべきです。いえ、知名度を考えたら
林 そんなわけじゃないですか！
中塚 ヌベジヨへの貢献度を考えればそれくらいは
林 認められません
中塚 じゃあ、島川さんのご意見を2票分にしましょう。吹奏楽部を日本一に導いたコーチなんですから

島川 おお、ありがとうございます

林 横暴すぎます。学校への貢献は、イメージアップではなく教育の成果で測られるものです！
京華 アイドルはイメージ悪くてダメって言ったくせに？

林 あれは信用の話です！ 大切なお嬢さんたちを／預かるにあたって保護者の方々から
井上 あの！

林 なんですか！

井上 これって、多数決で決めることなんですか？

林 ……そうですね。私としたことが

井上 あ、あとすいません！

林 なんですか

井上 ……アイドル活動ってダメなんですか？

林 ダメに決まってるじゃないですか。わが校には創立以来、芸能活動禁止というルールが／存在するんです。

黒木 ルールじゃないですよ？

林 ……

黒木 私が採めた時も、林先生は芸能活動禁止はルールだとおっしゃいました。ですが、そんな校則はどこにもないんです。

井上 そうですよ！？ 書いてあった覚えはないなーと思って

えま (生徒手帳を見ながら) 本当だ。芸能活動禁止とは書いてない。

美晴 じゃあ、なんでダメなんですか？

林 わが校のクレドに反するからです

京華 クレド？

小佐野 これよ

小佐野、掲示されている標語を指さす (掲示できない時は生徒手帳でも可)

- ・ 私たちは、高潔なる志を持ち、自己を律して、責任を全うします。
- ・ 私たちは、他者を尊重し、相互の理解と協力を通じて共に成長します。
- ・ 私たちは、知識を追求し、その知恵をもって社会に貢献します。

井上 ……これのどこに違反してるんですか？

黒木 一つ目。「私たちは、高潔なる志を持ち、自己を律し、責任を全うします」とありますね？
私の時は、学業を疎かにすることは、学生としての責任を全うしてない、と言われました。

林 よく覚えてますね

黒木 当たり前じゃないですか。あの時、私がどれだけ悩んだと思ってるんですか

美晴 ちよつとまって、映画に出て退学になった人って、黒木さん！？

黒木 そうよ。秘密だけど。

えま えっ？ でもプロフィールにヌベジョ卒って書いてありますよね！？

黒木 何年かしたらね、こちらの理事長が退学を取り消してくださいね。

中塚 プロの俳優としてこれだけ活躍されるのなら、「高潔な志を持ち、自己を律して、責任を全う」していただくからね。

林 黒木さんの人気に便乗して、入学希望者を集めたかっただけでしょ？

中塚 いいじゃないですか。入学希望者が増えることは。定員割れしたら生徒の質が下がりますよ？

島川 育成の基本は競争ですからね！ うちも一軍のステージに乗るのは大変だもん？

アゲハ はい

林 そうやってなんでも競争したがる文化が蔓延するから、芸能活動は禁止なんです！

リズ そうなんですか？

林 そうですよ。他人を蹴落として自分だけいい思いをしようなんて、「他者を尊重」した振る舞いとはいえませんが

リズ 他者を尊重？

えま (掲示の生徒手帳を示し) 2番目です。「私たちは、他者を尊重し、相互の理解と協力を通じて共に成長します。」

リズ なるほど……

林 甲斐さんが悪いと言っているんじゃないですよ？ 甲斐さんが、協調性とリーダーシップに優れていることは、よく知っていますから

アゲハ はあ

島川 だって吹奏楽はね、他のパートの理解と協力が無いと、一番にはなれないですからね！

林 だから吹奏楽部は認めているじゃないですか

リズ じゃあハイ！ ハイハイハイ！！ (挙手)

林 なんですか

リズ アイドルだってそうです！ 3人のチームワーク、相互の理解と協力が無いといいパフォーマンスはできません！

中塚 なるほど！ ではアイドル活動も、わが校のクレドには違反していない、ということになりますね

リズ ですよ！ よし一個クリア！

島川 アゲハ！ 書いといて！！

アゲハ え、あ、ハイ！

井上 あ、手伝います！

井上とアゲハ、クレドが大きく書かれた紙を取りに行く(○ホワイトボードに大きく書く)

2番目の項目にクリアマークをつける(作業中も議論は続ける)

以後、議論の内容を二人でここに記録する

林 いいでしょう。アイドル活動が他者を尊重する心を育む、ということとは認めます。

リズ よし！

林 では、アイドル活動の目標はどこにあるんですか？

リズ そりゃこの世界でっぺんとして、武道館満席にして物販でもがつり／椽ぐことですよ
京華 リズP！（その言い方はマズいとジェスチャー）

林 その志は、高潔だと言えますか？

リズ もちろんです！

林 どこがですか？

リズ えーと……（間）

林 どうしました？ やっぱり高潔だとは言えないんじゃないですか？

リズ 違うんです。えっと、その、（えまに）高潔ってどういう意味

えま えっ！？

美晴 そこ！？

リズ しょうがないでしょ！（自分は）中卒！

黒木 どんな分野であれ、そこで一番になるために努力するってことは、高潔な志だと思いますけど。

島川 そうですよ。吹奏楽と変わりませんよ。

小佐野 そんなわけじゃないですか

平岩 小佐野先生？

小佐野 島川さん、あなた本気で、アイドルと吹奏楽が一緒だとお考えなんですか？

島川 そりゃそうですよ？ ですよねえ？

中塚 ええ。アイドルでも吹奏楽でも、日本一めざして頑張っしてほしいですね。

小佐野 理事長！ それは不見識が過ぎます！

中塚 どういう意味ですか！

小佐野 吹奏楽部のコンクールで競い合うのは、音楽の質ですよ？

島川 当たり前じゃないですか

小佐野 じゃあアイドル同士で競い合うのはなんですか？

リズ ダンスと歌とパフォーマンズです

小佐野 違います！

島川 違うの！？

平岩 かわいさです

小佐野 正解！

島川 なるほど

小佐野 「かわいさを競い合う」なんて、低俗極まりないことです！ 女性を見世物にして！

島川 ー？

小佐野 衣装や愛嬌で評価がひっくり返るんですよ。健全な競争だと言えますか？

島川 たしかに。そう考えると、吹奏楽とはやっぱり違いますねえ

中塚 あなたどっちの味方ですか！

平岩 かわいさで競ったっていいじゃないですか

小佐野 何を言ってるんですか

平岩 なにがいけないんですか？ 音楽やスポーツで競うのと何が違うんですか？

小佐野 かわいいってのは、要するに男性から好かれるためのものでしょう。汚らわしい。

平岩 違います！ わんちゃんやネコちゃんだって可愛いじゃないですか！

小佐野 あなたは生徒を犬や猫だと思ってるんですか！？

平岩 そんな話はしてません！ かわいいものをかわいいと思うのはむしろ女の子の方だって言ってるんです。だから女の子はかわいくなりたいたいです。

小佐野 その価値観が、男性の好みに毒されてるんです

平岩 はあ？ なに言ってるの？

小佐野 女性は妻として男性にかわいがられ、母として小さく弱いものをかわいがる。そういう家父長制的な価値観を内面化した結果だと言ってるんです

平岩 意味わかんない

小佐野 これだから理系は。クレドの三条違反ですよ。もっと「知識を追求し、その知恵をもって社会に貢献」してください

平岩 文系の屁理屈の方が全然社会貢献してないですから。あなたロケット飛ばせるんですか？

小佐野 平岩先生だって飛ばせないじゃないですか。

平岩 残念でしたー。うちの主人はNASA勤務ですー

島川 そうなの！？ カッコいい！！

平岩 でしょ！！

美晴 ぴよちゃんは、日本科学技術大学女子枠の初代入学者にして、ミスコ技大。そして見事に科技大のスーパーエリート理系男子をゲットした、リケジョの星なんです

えま 星……？

京華 ガチの理系に怒られるやつ

島川 というか、ご主人アメリカに単身赴任？ 可哀想じゃないですか？

平岩 大丈夫です！ 愛があるから！

美晴 かわいい！

小佐野 ふん、旦那の身分を自慢するなんて、いかにも男に都合のいい女ですよ

平岩 あれ？ 嫉妬ですか？

小佐野 だれが嫉妬なんか

平岩 そうですよ。むしろ私が羨ましいですよ。独身って自由ですよーミス小佐野！

小佐野 ミスって……あ、ミスコン！ そうだミスコン女じゃんこいつ！ これは問題ですよ！

平岩 なにがですか

小佐野 教頭先生、わが校は「見た目の美しさや女性らしさを競うのは高潔な志ではない」として、文化祭のミスコンを中止しましたよね？

林 そうですね

小佐野 平岩先生はその、わが校に相応しくないミスコン的価値観の権化です。高潔な志を持たず、価値観のアップデートも怠っています。クレドの一条と三条に違反してるということですよ！

林 なるほど？

小佐野 よって、平岩先生は退学処分とすべきですよ！

平岩 なにを言ってるんですか。教員が退学とか意味わかんないじゃないですか
小佐野 有害な価値観の教員がいる方が意味不明です

平岩 あんたの屁理屈の方が／よっぽど有害だから

アゲハ (記録が嫌になって) ああ、これなんの時間なんですか？

林 ……そうですね。芸能活動の話に戻しましょう。

井上 あの、すいません。結局なにがダメなのかよくわからなかったんですが

リズ 私も！ よかったー仲間がいて

井上 小佐野先生は、結婚がダメだっておっしゃってたんですか？

リズ え、そんなことある？

小佐野 そのとおりです

リズ まじで！？

小佐野 男性中心の社会を守り、女性を抑圧するのが結婚制度ですから

平岩 嫉妬

小佐野 違います！

林 小佐野先生、さすがにそれは急進的すぎます

小佐野 わかっています。ですからせめて、わが校の卒業生は、男性に依存しないでも生きていけるような女性であるべきだと考えます。

林 なるほど

小佐野 ですから私は、愛嬌を振りまいて男性に可愛がられることを目指す、そうしたアイドル活動をみとめるわけにはいきません

リズ でも、別に、アイドルファンって男性ばかりじゃないですよ？

小佐野 え？

リズ うちのファンも半々くらいですし、おっさんに媚びてるつもりはないんですけど

小佐野 (資料を示して) こんなはしたくない衣装を着せておいてですか！？

島川 (資料をみて) あー、こういうのは別に男ウケって感じじゃないんじゃない？

リズ ですよね？ ダンスにしたって、うちは女の子に憧れてもらうってコンセプトでつくって
もらってるんで

井上 それ、なんかいいですね！ 女子にこそ好かれるアイドル

リズ でしょ？ まあいまだき別に珍しくもないんですけどね。やっぱりヌベジョは女の子の憧れ
なんで！ (中塚にアピール)

中塚 その通りです！ やっぱり芸能活動は認めましょう！

林 口ではどうとでもいえます。それに(資料をみて)この恰好が男性に媚びていないとも言
切れないと思います。

島川 そうですか？ むしろ男性はもっと地味で／素朴な感じの方が好きだと思っんですけど。

リズ 分かりました。じゃ、あんたたち、踊ってみて。

京華 ええっ！？

えま 今ですか！？

リズ そう。見せちゃった方が早いでしょ。

美晴 いや無理でしょこの状況で

リズ 無理とか言わない！ 武道館でも盆踊りでも、ステージがあれば立つのがアイドル！

美晴 ステージないじゃん！

リズ なくてもある！ いいから早く。新曲ね。

美晴 あ、新曲まだ振り入ってない！

えま 私も！

美晴 えま踊ってたじゃんさっき！

えま あれは、京華の見ながらだから

京華 ええ！？

美晴、えま、京華をみつめる。

美晴 頼んだよ、京華

えま フェスとテレビがかかっているから

京華 ひとりで！？ むりむりむりむり。

美晴 京華ならできる！

京華 無理だって！ あ、『ベリーローテンション』にしよ。あれなら踊れるでしょ

リズ ダメダメ、ベリロテちょっとガリーだから。暗いし。

京華 ええ……ホントに踊るの……？

林 観れば納得する、というのであれば

えま がんばれ！

美晴 気合気合！

京華、しびしび立ち上がるが、踏ん切りがつかない

京華 え、ホントに踊るの！？

林 お願いします

リズ 最初のツイエイトでいいから

美晴 がんばれ！（口々に）

えま がんばれ！（口々に）

島川 がんばれ！（口々に）

井上 がんばれ！（口々に）

中塚 がんばれ！（口々に）

黒木 がんばれ！（口々に）

（リズ はい、ファイブ、シックス、セブン、エイト！）

京華、声援に後押しされ、意を決して踊る（音楽もしくはリズのカウントに合わせて）

美晴 頑張った！（口々に。アドリブ可）
えま さすが！（口々に。アドリブ可）
島川 いいじゃん！（口々に。アドリブ可）
井上 カッコいい！（口々に。アドリブ可）
黒木 ステキ！（口々に。アドリブ可）
中塚 最高！（口々に。アドリブ可）
リズ （林たちに）どうですか？ 別に、愛嬌全開じゃないでしょ？
林 ……
小佐野 たしかに……想像と違いましたね
リズ でしょ！？
小佐野 今のアイドルはこんな感じなんですか？
リズ こういう感じ、増えてます！
小佐野 あ、歌詞は！？ セーラー服脱がすとかそういうアレじゃないですよね！？
島川 ふるっ
リズ （スマホを見せて）こんなかんじです
小佐野 ……（読んで）教頭先生
林 はい
小佐野 歌詞の内容的にも、強い女性像を提示する意図や、社会からの抑圧に抗うメッセージが込められていきます。この表現はむしろ、「高潔な志」に基づくものだと言えるのではないでしょうか！
リズ よっしゃ！
小佐野 なので、これなら活動を認めても構わないと考えます
黒木 やった！
島川 （アゲハに）書いといて！
小佐野 『マイ・フェア・レディ』なんかの方が、よほど問題なくらいです。
黒木 ええ！？
中塚 ああもうややこしい
林 平岩先生は、どうお考えですか？
平岩 私は、やはり公式に認めるべきではないと思いますが
京華 えー
美晴 ぴよちゃん！
平岩 ですが、皆さんが認めるべきだと言うなら譲ります
小佐野 ええ？ あなたには自分の意見というものが無いんですか？
平岩 ありますよ？ でも譲ります。私、協調性あるんで。その方が愛されるんで。
美晴 あざとい！（ほめてる）
平岩 いえい！
島川 いやー、なんかモテるのわかる気がしますね
平岩 でしょ！

井上　そしたら、最後。クレドの三番目についてはどうなるんですか？

島川　それはもういいんじゃないですか？　芸能活動に知恵や知識がいらな、なんて言う人はいないでしょう

井上　あ、そうなんだ……

黒木　教頭先生、あとはもう教頭先生だけですよ。

林　……わかりました。いいでしょう。

一同、一瞬耳を疑い、その後、時代が変わるのを実感する

林　クレドの解釈として、芸能活動一律禁止は時代にそぐわないのかもしれませんが

黒木　ようやくご理解いただけましたか

林　……本来でしたら、黒木さんの退学取り消しの時点で、変えておくべきでしたね

美晴　じゃあ……

林　芸能活動一律禁止の方針は撤廃します。今後は芸能活動についても、自主的な課外活動として原則的に認めることとします。

リズ、えま、美晴、京華、歓声を上げながら抱き合っ。

林　他の教員の皆様にもご了承いただかないといけません、理事長が賛成なら問題ないでしょう

中塚　そちらは、お任せください

島川　やりましたね！

林　ただし！　末野リズさん！

リズ　なんででしょうか！　教頭先生さま！（えまたちとはしやぎながら）

林　あなたとの活動については、認めるわけにはいきません

間

リズ　え？

林　この（資料をみて）高嶺のフラワーズの活動はすぐに中止してください。いえ、活動自体をなかったことにしてください。それで、この子たちの問題行動もなかったことにします。

リズ　ちよつと待ってください、いま芸能活動も認めるって

林　「原則として認める」です。あなたの活動は例外です。例外として、認めるわけにはいきません

リズ　（えまに）ごめんよくわかんなかった

えま　……（シヨックで答えられない）

井上　基本オッケーだけど、リズさんのとこだけNG、ってことです！

リズ　なんで！！

井上 さあ……

美晴 あれだよリズP！ 不法侵入！ 謝って！！

リズ ああああの、その、不法というかその、うっかりなんですけど、結果として／こう騙すみたいな形に

美晴 ちゃんと謝って！！！！

リズ すいませんでしたもう絶対騙すようなことはしません！

林 そんなことはどうでもいいんです。

リズ ……？

林 彼女たちがわが校の生徒だとリークしたのは、あなたですよ？

京華 え（同時に）

美晴 えっ！（同時に）

アゲハ やっぱり（同時に）

えま ……どういことですか？

リズ いや、私じゃないよ。なんかいきなり、そのほら、雑誌から取材来て、えー！？ みたいな

林 あなたどうも嘘をつきますね

リズ なんで決めつけるんですか！

林 （雑誌の原稿を示しながら）出版社の幹部に卒業生がいるんです。どういう経緯でリークされたのか、すべて教えてくれました

リズ ……

京華 ホントにリズPがばらしたの？

美晴 最悪

リズ ……いや、あんたたちのためだから！ だって、だってあんたたち全然ドカンと来ないんだもん！ わかってんの？ 高校卒業したらアイドルとしては崖っぷちよ？ 手遅れよ？ それでもってっぺん獲りたいって言うから！

えま だから？

リズ ……使えるもんはなんでも使おうと思ったの！ こんな大事（おおごと）になると思ってたかったし！

美晴 ちよっと待ってよ、黒木さんいなかったらどうするつもりだったの！？

リズ だからごめんって！ でもそれで、フェスもテレビも決まって、んで結局退学にもならないんだし、結果オーライじゃん！

林 結果オーライでも、過程に問題があります。

リズ でも！ それは全部この子たちのためで！ それぐらいしないとこの子たちの夢は／叶わないから！

林 ウソをつく。誤魔化す。約束を破る。そんな指導者に、子供たちをお預けするわけにはいきません。

リズ それは、その、でもチャンスなんです！（中塚に）きっと有名になりますから！ この子たちを見て、もう何万人って子供たちがヌベジョに殺到しますから

中塚 うーん

林 (えまたちに) あなたたちはどう思いますか？

京華 納得できません

林 この人を信用すると？

京華 はい。確かに、強引なところはあります。けどそれは、それだけ一生懸命私たちの夢を応援してくれているからです。(えまと美晴に) ね？

美晴 そうだけど……

えま 私も、末野さんを信じたいです。一番近くで支えてくれた人ですから

美晴 じゃあ、私も

リズ そうだよね！？ ね？

京華 っていうか、そもそも学校が悪いんじゃないですか。最初からアイドル活動を認めてれば、リズPだってウソをつく必要はなかったんだから。

リズ そう！

京華 教頭先生さっき、もっと早く認めておくべきだったって言いましたよね？

林 言いましたけど

京華 じゃあそっちのミスじゃないですか！ 早く認めないからこうなったんです！

林 わかりました。(リズに) ずいぶん慕われているんですね

リズ もちろんです。頑張ってますから。彼女たちのために。

林 水着グラビアに関して、彼女たちのためですか？

えま 水着？

美晴 (京華に) しってる？

京華 しらない！？

リズ 京華には言ったでしょ！ グラビアとかやる覚悟あるか、って

京華 あ、聞かれた。契約書書くとき

えま 契約書？

美晴 なにそれ

京華 マネジメント契約。その時に、水着についても。

林 出版社の人間によると、2月に掲載予定があるそうですね。なぜ一人にしか許可をとってないんですか？

リズ それは、その、美晴はまだ18歳になってないから、契約できないし、とかその、ねえ。

美晴 未成年に水着の話は……

美晴 そっか

えま わたしもう18ですけど

美晴 そうじゃん！

えま なんで私は言われてないんですか？

リズ それは……

林 水着に抵抗がなさそうな真島さんと契約して、それを元に出版社と話をつける。で、他のメンバーとは撮影直前に、既成事実として逃げられないようにしてから契約する。業界ではよくある手口だそうですね。

えま ……

美晴 ……

京華 え、なに。いいじゃんそれくらい。水着くらいやるでしょ？

えま 私は……

美晴 やつてもいいけど、なんか……

リズ たまたまだから！ 美晴だってアレよ？ 誕生日きたらすぐ契約の話するはずだったよ？

美晴 でもえまは騙そうとしたんでしょ？

えま ……

リズ えっと、それは、その、

美晴 なに！

リズ みんなのためだから！ ほら、美晴だって、えまは嫌がりそうなのわかるでしょ！？ でも

やらないと絶対に売れないから！ だったら、こうするしかないじゃん！ そうでしょ？

京華 そうだよ。だいたい、えまも美晴も甘いんだよ。こっちはなんでもする覚悟でいるのにさ、

なんかいちいち水着は嫌だとか退学は嫌だとか

美晴 だって嫌なもの嫌じゃん！ 私はそこまでするなら売れなくていい！

京華 なにそれ最悪！ 遊び半分なら最初からやんじゃねーよ！ 振りも全然覚えてこないし！

美晴 それはいま関係ないでしょ！

えま 辞めます！！

間

えま 高嶺のフラワーズ、辞めます。

リズ ちょっとえま、何言ってるの

えま ごめんなさい。でも辞めます。もうリズPのこと／信じられない

リズ 待って待って待って、そう、ほら、黒木さんだってあんなたちのために／こんなに頑張っ

くれたのに

黒木 私のことは、(えまに) 気にしないでいいからね

えま ごめんなさい……

えま、部屋を飛び出していく

美晴 えま！

美晴、京華、後を追う

平岩 (林に) 見てきますね

平岩、後を追う

第十三場

島川 なんかもう、芸能活動がどうこうという話じゃないですね

リズ けど、コーチならわかるでしょ？ 一番になろうと思ったたら／これくらいやらないとだからってこんなやり方はしないよ

リズ (黒木に) でも芸能の世界では／これくらい普通ですよ

黒木 昔はね。今は、変えていこうってなってるでしょ

中塚 というか、それこそ早めに止められてよかったです。テレビに出てから騒ぎになってたら信用問題ですからね

リズ ……

林 末野さん、我々としてもこれ以上問題にするつもりはないですから、もう手を／引いてください

リズ ……いい性格してますよね

林 はあ？

リズ リークのことも、水着のことも、不法侵入……は別にただの勘違いだけど、だけどそういうこと知ってるんなら、なんで最初っから言わないんですか。なんで校則がどうかこうとかごちゃごちゃ言ってたんですか！ 一旦はオッケーにしますとか言って、喜ばせといて、それでなんか私を悪者みたいにして、

林 末野さん

リズ どうしてそんな酷いことできるんですか！ 最悪！／意味わかんない！

林 あの子たちを！（一喝して黙らせる）傷つけないようにと考えたんです！

リズ はあ？ 結局いちばん傷つけてんじゃん

林 末野さん、あの子たちは、あなたを信じてたんですよ？

リズ そうですよ、それなのにあなたが／余計なこと言うから

林 騙されてたって知るくらいなら！

リズ 騙してたわけじゃ……

林 「頭の固い学校に、やめさせられた」と、思えた方がいいと思っただんです。

リズ ……

林 まあ、黒木さんや小佐野先生まで、アイドルの味方するとは思いませんでしたけど

小佐野 あの……

林 いいんです。いい議論ができたと思ってます。

小佐野 ……

林 さ、これからです。小佐野先生もあの子たちのケアをお願いしますね

アゲハ ガキ扱いしやがって

林 え？

アゲハ ……(井上に)なんて言ったんですか？

井上 えええ私は何も

アゲハ それよりこれ(クレドを書いた紙とホワイトボード)もう要らないですよ？

林 ……そうですね。私たちはもう行きますので、記念式典の打ち合わせ、ここ使っても大丈夫ですよ

中塚 そうですか。じゃあ。

林 (リズに) あなたも、早く出て行ってくださいね

林、小佐野、出ていく

アゲハ、井上、会議のスタンバイをしはじめる

第十四場

島川 おいアゲハ、お前なんだったんださっきの

アゲハ だってムカつくじゃないですか。こっちが合わせてやってるのに

黒木 あら、生徒会長さんってそんな感じなんだ

アゲハ 意味わかんなくないですか？ 競争するなっていういながら全国とったらチャホヤして。

島川 言われていますよ、理事長

中塚 私はね、別に全国とらなくっても/吹奏楽部は誇りに思っていますよ

アゲハ 勝て勝て蹴落とせならまだいいんです。分かりやすいじゃないですか。

島川 蹴落とせとは言っていないぞ。

アゲハ わかっていますって。けど、先生たちってめっちゃ矛盾するんですよ

井上 矛盾？

アゲハ 自分で考えろって言いながら、気に食わなきゃ素直になれ。勉強できりゃ喜ぶくせに、勉強だけじゃダメとか人間性がどうかとか。女らしさに囚われるなって言いながら、身だしなみだの立ち振る舞いだの礼儀だの

黒木 確かにね。私も恥だって言われたり誇りだって言われたり

中塚 (困る)

黒木 (笑う)

アゲハ さっきもなんかどうでもいい議論でルール変えてたじゃないですか。結局、あの人たちの気分というか、ノリなんです。その時その時で、なんか理想のヌベジヨ生！ みたいなのを作りたいだけなんです。ガキ扱いというか、お人形扱いですよ

島川 おまえ、なんかストレスためてないか？

アゲハ 溜めてないですよ。女の子は賢く生きなくちゃ(平岩のモノマネをする)、なんで

島川 (黒木に)溜まっていますよねえ

黒木 溜まっていますねえ

アゲハ アイドルなんかもっと大変そう。リズPさんキツくなかったですか？

リズ え、私？

アゲハ 学校はほら。先生だからまだいいけど。アイドルって変なおっさんとかが言ってくるんですよ？「髪染めるな」とか「恋愛すんな」とか。しんどくなかったですか？ 現役時代。

リズ それは、だって、応援してくださいってことだから。ちゃんと受け止めて、期待にこたえないと。

アゲハ ふーん。意外と真面目なんですね

リズ だって、そう言ってきたさるのは、愛があるから、だから

小佐野 そうとは限りませんよ

小佐野が入ってくる

第十五場

小佐野 たとえば結婚制度は、女性を家庭に縛り付け、出産、子育てという負担を押し付けてきました。なぜそれが可能だったか分かりますか？

島川 なんて結婚の話？

アゲハ (優等生に豹変して) 女性に教育の機会が与えられてなかったからです

小佐野 それも正解です。ですが、その差別がまかり通ってきた最大の理由は、それこそが「愛」とされてきたからです。

リズ ？

小佐野 男性は、愛ゆえに女性を養う。女性は愛ゆえに男性の子を産み、育てる。そこには明確に、男性が女性を支配し、利用する構造があります。にもかかわらず、「愛」という美しい理由をつけることによって、正当化してきたのです。彼らは自分の支配欲を、愛だと言い換えているだけなんです。そして女性たちも、搾取されることを愛だと勘違いしているのです。

リズ ……愛さえあればなんでもできる、みたいな話？

井上 逆です。愛だって言っちゃえばモラハラが許される、みたいな話です。

リズ ？ 愛があればモラハラじゃないでしょ？

井上 えー、っと……

黒木 いるいる。こうなっちゃってる業界人

アゲハ 重症ですね

島川 重症だね。というか、小佐野先生お忘れ物ですか？

小佐野 いえ、どうしても気になってることがあります

島川 ？

小佐野 末野さん、あの歌詞もダンスも、やっぱり私にはどう考えても、女性の自立と抵抗の表現にしか見えなかったんです。それなのに雑誌では、あの子たちを水着にして搾取しようとしている。そこに矛盾は感じないんですか？

リズ ……？ (井上に助けを求め)

井上 なんて曲は強めの女子向けなのに、雑誌では男性向けに脱ぐんですか？って

リズ なんてってそりゃ、どっちもウケるからです

小佐野 でも矛盾してるじゃないですか！ 一方では戦えって言って、一方では媚びて
リズ ……そうですか？

小佐野 そうですよ！

井上 わたしも、おかしくないと思いますよ

小佐野 どうして？

井上 だって…そういうもんじゃないですか？ なんか偉そうにされたら「男なんて」ってなるけど、ビンの蓋あけてくれたら「大好き！」ってなるじゃないですか。どっちもあるのが普通じゃないですか。

小佐野 ……

井上 甲斐さんだって、賢く生きたいと思っててもやさぐれるし

小佐野 やさぐれるんですか？

アゲハ そんなことないですー

島川 こいつね、部活と生徒会とで人格かわるんですよ

アゲハ かわらないです！ なんてそういうこといいますか？

島川 ん？ そりゃ「愛」だよ

アゲハ 愛の使い方間違ってます

リズ 私も？

アゲハ え？

リズ 私も間違っちゃいましたか？ 愛の使い方。

アゲハ それは…

黒木 ご自身が「愛されて」て、どうでしたか？

リズ え？

黒木 ほら、愛だから、って色々言ってくる方いたんでしょう？ アイドル時代。その時、どう感じていたんですか？

リズ それはだから、ありがたくなって

黒木 嬉しかったですか？

リズ ……

黒木 たぶんね、私もおんなじような経験たくさんしてるんですよ。

リズ ……

中塚 黒木さんは、どうだったんですか？

黒木 うるせえぶっ殺すぞ、と思ってました

中塚 えっ

小佐野 素晴らしい。やはり黒木さんこそ、ヌベジヨの誇りです。

中塚 そ、そう？ ならいいけど。

黒木 でも、やっぱり最初の頃は悩んじゃって。耳きこえなくなっただですよ。一時期。

島川 あー…

リズ ……私も

黒木 ？

リズ 声が出せなくなったことあります。人前に立つと。それで……（アイドルやめたんです）
黒木 ……

ノックの音。平岩が入ってくる

第十六場

平岩 失礼します。リズPさんもうお帰りですか？

リズ ……

平岩 あ、いた。（廊下に向かつて）いたよー

美晴、京華、えまが入ってくる

平岩 リズPさんに、伝えたいことがあるそうです

えま ……

美晴 ……

京華 ……あの、これからのことなんだけど

リズ ごめんちょっと待って！

京華 ……？

リズ なんかね、いま全然わかんなくなっちゃって！ もうわけわかんなくなっちゃって！

美晴 リズP……？

リズ ホントにね、私はね、ホントに、みんなのためだと思ってやってきたし、同じ夢をみてるってホントに思ってたんだけどね、でも、なんか、なんかわかんなくなっちゃって

えま ……

リズ ごめん。ほんとごめん。プロデューサーがメンブレして……

一同、リズが落ち着くのを見守る

リズ ごめん。……なに？

京華 三人で話してね、高嶺のフラワーズは解散しようって

リズ ……そう、だよね。うん。そらそうだ。

美晴 でね、その後の／ことなんだけどね

リズ そうだよ！ よかった！ そう！ 実はね、その方がいいんじゃないかって思ってたの！

美晴 え？（リズはこのセリフを待たない）

リズ やっぱりそうだよね。私は、なんかわかんないけど、なんかすごい間違えてて、

えま そんなことないよ（リズはこのセリフを待たない）

リズ なんかそんな気がしてて、だからほんとごめん。迷惑かけたし、

京華 かかってない！（リズはこのセリフを待たない）

リス 私なんかのプロデュースじゃなければ／もっとなんでも上手くいったのかもしれないよね
美晴 きいて！！

リス ……

京華 私たちは、リスPがいなかったら、意味ないよね、って。

リス え…？

美晴 芸能活動はオツケーになったんだからさ、なんか別の事務所で、とかも考えたんだけどね、

やっぱり高嶺のフラワーズは、リスPがつくったグループだから、リスPがいらないのに続けるのも、違うよなって。

えま 水着のことはシヨックだったけど、でもそれは私たちが売れるためだし、

リス 違うんだって。私はたぶん全然あんたたちのことなんて／考えてなかったの！

京華 そんなことないでしょ

リス ……

京華 売れなきゃ困るとか、立場がどうか、そういうのがあったのは、そうなんだろうけど。きつと、私たちのためだったのも、たぶん本気だったよね、って

美晴 リズP、そうでしょ？

京華 おんなじ夢、見ててくれたんでしょ？

リス ……

えま 私たちも、ダメだったよね、って。いっつもリスPになんでも任せきりで、どうしたいかとかもハッキリ言わないのに、文句だけは言ってたし

リス そりゃ、だってプロデューサーとアイドルってそういうもんじゃん

京華 そうじゃない感じが、いいよね、って。私たちは。ね。

えま うん

京華 だから、私たちアイドル卒業しよ、って。リスPが脱退するんじゃないかって、みんな卒業しようって、決めて来た

リス プロデューサーが脱退ってどういうことよ……

美晴 リズP、ありがとう。リスPが声かけてくれなかったら、わたしたぶん今もずっとやる気ない陰キャしてた。(平岩に) ね？

平岩 ん、そうかもね

美晴 だから、ありがとう。すごーい楽しかったし、リスPのおかげで人生かわった

リス ……

えま ありがとうリスP

京華 ありがとう

リス ……あれ？ え？ それ感謝？ ありがたい気持ちで言ってる？

美晴 そうでしょ

リス ダメ！

京華 なんで！？

リス 壊れちゃうから！

美晴 なにが？

リズ ほら、ぶっ殺してやる、つて。ね。ぶっ殺すって思わないと
京華 わけわかんないから
えま ちゃんと話して？
リズ だって、それじゃ愛じゃん！ 愛になっちゃうじゃん
京華 愛されてたと思ってるよ！？
リズ 違うんだって！ 愛じゃダメなの！ 私は……もつと……
えま 愛でしょ、リズP
美晴 そうだよ。
京華 それ以外、ないじゃん
リズ だって……（井上に助けを求める）
井上 愛で、いいんだと思いますよ。
リズ ……

リズ、えま、美晴、京華、抱き合う

アゲハ 結局、愛か。バカみたい

平岩 嫉妬？

アゲハ ……

リズ あ……

京華 なに！？

リズ お金……社長になんて言おう……

えま あ、そのことなんだけどね

美晴 ママに言えば、数百万ならなんとかなるから

リズ え？

京華 足りなかったら、わたしたちも聞いてみる。親に。

えま 今までのレッスン代って言うから

リズ ……嘘でしょ？

美晴 ホントだって。おかげで退学にならなかったって言えば。ぜったい出してくれるから。ね

えま うん

京華 うちも、レッスン代くらいなら

リズ あんたたち……めぐまれてるなあ……！！

1ヶ月後・同じ部屋

林、小佐野、平岩、中塚が、京華に説教をしている

エピソード

林 確かに、芸能活動は解禁しました。ですが、なんですかこれは

林、スマホでtiktokを見せる。京華が踊っている

林 わが校の名前を出して、こんな品のないダンスを発信するとは何事ですか！

中塚 まあでも、これでわが校の知名度が上がったと思えば

林 恥をさらして有名になってどうするんですか！

中塚 恥だなんてとんでもない。クリエイティブです。

林 (平岩、小佐野に) どう思いますか？

平岩 女の子らしくてかわいいとおもいます (同時に)

小佐野 男性に媚びた卑猥な踊りです (同時に)

小佐野、平岩にらみ合う

美晴が入ってくる

美晴 ごきげんよう……なにこの状況

平岩 京華ちゃんのtiktokがちよっとね

美晴 ああ！ あの万バズしてるやつ！

京華 一億いった

美晴 一億……！！

井上が入ってくる

井上 黒木さんいらっしやいました

黒木とえまが入ってくる

黒木 ごきげんよう。(察して) 教頭先生、また才能を潰す気ですか？

林 才能？ この下品なダンスがですか？ (スマホを見せる)

黒木 これは……えまちゃんのお稽古動画の方が素敵ね

京華 え！？ えま再生数は？

えま 5000……

京華 ふん。勝った。

島川とアゲハが入ってくる

島川 お疲れ様ですどうも

アゲハ これ、新しい楽譜です(紙をえま、京華、美晴、黒木に配る)

島川 黒木さんのパートは基本変わってないです。三人のコーラスが入っただけなんで

黒木 分かりました。

えま あの、合唱部のひとたち怒らないですか？

島川 大丈夫大丈夫。この合唱部弱いから。式典なんて出せないよ。

井上 あれ？（平岩と小佐野に）お二人はなぜここに？

平岩 なりゆきで（同時に）

小佐野 なりゆきで（同時に）

黒木 （島川に）そういえば、今日は広報の方がいらっしやるんですか？

島川 ええ。SNS周りをやってもらいます

中塚 これからは吹奏楽部をはじめ、課外活動の華やかさをアピールしていくことになりましたので。まずは式典の様子を実験的に。

島川 SNSってよくわかんないですからね。慣れてる人でないとね。

林 私は反対なんです。こんな低俗なものを使って広報するなんて、わが校の伝統に反します

島川 そこはまあ、やり方次第ですから

アゲハ コーチ、あの人に甘いですよ

島川 そう？

足音が近づいてくる。扉が開く。

リズが堂々と立っている

リズ 「みなさん、ごきげんよう！」

おしまい